

Season Trend Summary & Forecast for 2023 AUTUMN

Kuriyama R&D Office

本資料には、第三者が著作権等の権利を有するビジュアルが含まれています。
その為、貴社業務の参考資料としての活用に限定し、社外秘資料として管理をお願い致します。

【アウター】

- 22夏から継続して、スリープスアウターが店頭を賑わせていた。特にエコファーベストの提案が多く、ホワイトやベージュなどのカラーが多く見られた。その他、秋らしいエコレザーや根強い人気のユーティリティベスト、袖の取り外しができる2way仕様のアウターが提案されていた。
- その他、ショート丈のジージャンやコンパクトな半袖ジャケット、ルーズシルエットのテーラードジャケット、ロゴなどの入ったスタジアムジャンパー、エコムートンジャケットなどが見られた。

〈スリープスアウター〉



エコファーベスト



スリープス
ユーティリティJK



ショートJK&
トレンチ風ジレ



スリープス2way
テーラードJK



エコレザーベスト

〈その他〉



半袖ジャケット



スタジャン



ショート丈
ジージャン



ルーズシルエット
テーラードJK



エコムートン
ジャケット

【ワンピース・セットアップ】

- 秋の店頭ではセットアップの提案が強まり、様々な素材のアウターセットアップが登場した。涼しげな半袖ジャケットセットアップが多く、ショート丈ジャケット、シャツジャケット、フェミニンなパールのリムのジャケットなどが見られた。
- デニムのセットアップが増加し、ショート丈のジージャンとデニムボトムとのセットが見られた。
- スウェット素材の提案が増え、パーカとパンツのセットやスカート部分がタイトなワンピースなどセクシーなアイテムが見られた。
- フェミニン系、モード系共に、膝上までの深いスリットが入ったマキシ丈ワンピースが増加していた。
- ショートカーディガンやブラウスとセットの着回しの良いワンピースが増えていた。
- その他、ポロワンピース、チャイナデザインOP、デコルテカットアウトOP、凸凹ニットのセットアップなどが見られた。

〈ハーフスリーブセットアップ〉



ミニSKセット



シャツJK&
パンツセット



ショートパンツ
セット



パールトリム
チェック柄JK&
ブリーツミニSK

〈デニムセットアップ〉



ショートJK&
ショートパンツ
セット



ティアードSK
セット



パーカ&
オールインワン



パーカ&
パンツセット



タイトSK
ワンピース

〈スリットワンピース〉



サイドスリット
マキシOP



深スリット
スリムOP

〈ワンピースセット〉



カーディガン
セットニットOP



ブラウセット
ワンピース

〈その他〉



ポロワンピース



チャイナボタン
刺繍ワンピース



デコルテカット
アウトニットOP



凸凹ニット
セットアップ

【シャツ・ブラウス】

- 肌見せは二の腕見せが主流となり、二の腕見せができるように肩にボタンをつけた2wayデザインのシャツや二の腕部分を切り取ったシャツ、ブラウスが増加していた。
- シアー素材の人気は継続して高く、フェミニンなパフスリーブからルーズシルエットのプリントシャツまで幅広く見られた。
- リボンタイやバックリボンなどリボンをあしらったフェミニンなブラウスが多く見られた。
- その他、デコルテ部分の空いたプリントブラウス、ドロストで丈調整できるショートブラウス、フリルで縁取ったスーパーショート丈シャツ、カラージュ柄のシャツ、デニムのオーバーサイズシャツなどが見られた。

【ニット・カットソー】

- アームカバーの提案が増し、特に半袖トップスとアームカバーのセット売りが多く見られた。アームカバーは指穴のあるグローブタイプからルーズなウォーマータイプまで様々なデザインが提案されていた。
- 肌見せデザインも継続して多く、肩や二の腕部分のカットアウトやレイヤードでデコルテ見せをするデザインが見られた。
- ショート丈ニットとカーディガンのアンサンブル提案が増加していた。
- その他、カーディガンが増加し、ヘアリーニットやツイード風などが見られた。ハーフジップのスウェットやニットが好調。ブランドロゴはニットでも多く見られた。プリントシアーカットソーの人気も継続していた。

〈二の腕見せシャツ・ブラウス〉



2way二の腕見せ
ストライプシャツ



リボン付き
二の腕見せシャツ



二の腕見せ
ルーズシャツ



ドット柄
二の腕見せブラウス

〈シアーシャツ〉



パフスリーブ



ジオメトリック柄

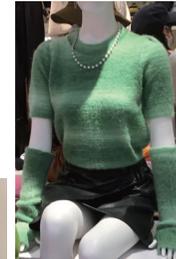
〈アームカバー付きトップス〉



バイカラー
カットソー



リブカットソー



グラデーションニット

〈肌見せトップス〉



肩見せ
ボリュームスリーブ



メッシュプルオーバー
& ペアトップ



二の腕見せ
裾ロゴテープ

〈リボンブラウス〉



アシメリボンタイ



背中見せ
バックリボン

〈その他〉



デコルテ見せ



スーパーショート丈



ドロストブラウス



デニムシャツ



プリントルーズシャツ

〈アンサンブル〉



グラデーション
ニット



ペアトップ&
カーディガン

〈その他〉



ヘアリーニット
カーディガン



ツイード風
カーディガン



ハーフジップ
スウェット



ブランドロゴ柄ニット



プリント
シアー
カットソー

YOUNG 7~9月注目アイテム

【パンツ】

- カーゴパンツの提案が増加し、合繊素材のシャカパンやユーティリティ感のあるコットン素材などが見られた。シルエットはゴムなどで裾が窄まったデザインや太めのストレート、ワイドパンツが提案されていた。
- ショートパンツの人気が続く、エコレザーやツイードなど秋冬素材での提案が増加していた。
- Y2Kトレンドを背景にデニムの提案がますます活発になっていた。サイドにカットアウトのある肌見せデザインのほか、フリンジのアクセント、タックでシルエットを強調したワイドデニム、サロペットなどバリエーション豊富に様々なデニムが見られた。
- その他、ストレッチ素材のフレアパンツやモノグラム柄のニットパンツなどが見られた。

〈カーゴパンツ〉



裾ゴム
シャカパン



タック&ドロスト



コットン
ワイドカーゴ



ストロング
カラー

〈ショートパンツ〉



ハイウエスト
レザー



ツイード
ショートパンツ

〈デニムパンツ〉



ウエスト
カットアウト



太もも
カットアウト



フリンジ
ワイドデニム



タックワイドデニム



サロペット

〈その他〉



ストレッチ
フレアパンツ



モノグラム柄
ニットパンツ

【スカート】

- ミニスカートの提案が多く、パンツでも人気のカーゴデザインやティアードのフレアミニ、エコレザーやツイードなどの秋冬素材など様々な提案が見られた。
- マキシ丈スカートはプリントが多く、オンブレチェックやダルメシアン柄、ドット柄などが提案されていた。無地ではデニムのティアードスカートなどが見られた。シルエットはマーメイドやフレアなど。
- スリットスカートの人気が続く、インナーを付けたセクシーな深スリットスカートのほか、レースアップやペプラムを加えたフェミニンなスカートも増加していた。
- その他、デニムのプリーツスカート、花柄のマーメイドスカート、クロシェニットスカートなどが見られた。

〈ミニスカート〉



カーゴ



エコレザー



ティアード



ツイード

〈マキシスカート〉



オンブレチェック



ダルメシアン柄



バックリボン
ドット柄



デニム
ティアード

〈スリットスカート〉



インナー付き
深スリット



レースアップ&
深スリット



ペプラム付き
サイドスリット

〈その他〉



デニムプリーツ



花柄マーメイド



クロシェニット

リサーチ場所: 渋谷109、ルミネエスト、新宿ミロード、竹下通り、原宿アルタ、ラフォーレ原宿

YOUNG ショップリサーチまとめ

22年秋の店頭では、Y2Kトレンドのストリートカジュアルスタイルが多く見られた。キャミソールやクロップト丈のコンパクトなカットソー、ローライズデニム、カーゴパンツ、ルーズソックスなど2000年代テイストのアイテムが多く登場し、肌見せを取り入れたカジュアルなスタイルがVPで目立っていた。またセクシーな肌見せアイテムの人気が続くし、デコルテや二の腕見せ、深いスリットスカートやストリート風の袖スリットシャツなど、様々なアイテムが見られた。22夏から人気のスリーブレスアウターは秋冬素材でさらに増加し、エコレザーやムートン、ボア、ファーなど素材豊かに見られた。今シーズンに増加したアームカバーとも相性が良く、コーディネートが多く見られた。素材では、デニムとツイードが多く見られた。デニムはY2Kムードのミニスカートやローライズデニムだけではなく、セットアップやジャンスカ、サロペット、トップスまで幅広く見られた。ツイードやツイード風のニットは60年代風のコンパクトでエレガントなスタイルが多く、レトロ感のあるルックが多く見られた。

・Y2Kトレンド



・肌見せアイテム



・スリーブレスアウター



・デニム



・ツイード、ツイード風ニット



【アウター】

- 夏の店頭から継続してノースリーブアウターの人気が高く、キレイめのノーカラージャケットからカジュアルなユーティリティベスト、中綿入りのMA1まで幅広く見られた。8月からはエコファー、エコボアなどのボタンレスベストが登場し、VPを賑わせていた。
- テーラードジャケットの提案も増加し、金ボタンのダブルブレストブレザーやチェック素材などトラッドテイストのジャケットが見られた。
- その他、ノーカラーのキルティングジャケット、オーバーサイズのMA1、コンパクトなエコレザーライダースジャケット、デニムジャケットなどが見られた。

〈ノースリーブアウター〉



〈テーラードジャケット〉



〈その他〉



【ワンピース・セットアップ】

- 3月に多く見られたジレセットアップが再登場。テーラードカラーのジレとスラックスのセットが多く、中にはビスチェを加えた3点セットも見られた。
- アウターとミニ丈ボトムのセットアップが増加し、ミニスカートやショートパンツとジャケットの組み合わせが多く見られた。また、VPではロングブーツのコーディネートが見られた。
- 7月にはAラインのサックワンピースが増加し、ビビッドカラーからアースカラーまで幅広く見られた。
- その他、ツイードのジャンパースカート、ツイード風のニットセットアップ、ボウタイワンピース、ニットベストドッキングのブラウスワンピース、ジャカードのキャミワンピースなどが見られた。

〈ジレセットアップ〉



〈ショートボトムセットアップ〉



〈サックワンピース〉



〈その他〉



リサーチ場所:新宿(ルミネ、ミロード)、池袋(ルミネ、パルコ)、渋谷ヒカリエ、武蔵小杉(グランツリー、ららテラス)

【シャツ・ブラウス】

- シアー素材の人気が続き、シンプルなプルオーバーからフリルブラウスまで幅広いデザインが見られた。無地だけではなく、フロッキープリントのドット柄やボタニカル柄なども提案されていた。
- ボウタイブラウスの提案が増加。大ぶりなりボンタイが多かったが、一部では細身のボウタイも見られた。ハイウエストのボトムスにインするキレイめのコーディネートがVPで多く提案されていた。
- シャーリングを袖や身頃に施し、ボリューム感に緩急をつけたシャツやブラウスが多く見られた。
- その他、ボリュームスリーブのポンチョ風シャツ、ショルダースリットの二の腕見せシャツ、ストライプのビッグカラーブラウス、刺繍とパールボタンのハイネックブラウスなどが見られた。

【ニット・カットソー】

- オーバーサイズを中心にニットベストの提案が増加していた。チルデンニットデザインのほか、抽象的な花柄やツイード風のニットベストが見られた。
- カーディガンの提案が増え、コンパクトなクロップト丈からルーズなドロップショルダーまで様々なシルエットが見られた。レトロな配色ラインやフェミニンなパール付きなどデザインの幅も広く見られた。
- その他、ノースリーブニットや半袖のコンパクトなパフスリーブニット、ロゴスウェット、キルティングジャカード切替のスウェット、スキッパーなどのショート丈ニット、オーバーサイズのモヘヤニット、アームカバー付きの半袖ニットなどが見られた。

〈シアートップス〉



チュール
プルオーバー



フロッキー
ドット



プリント
オーガンジー



フリッツフリル
ブラウス

〈ボウタイブラウス〉



リボンタイ



花柄



ドット柄

〈ニットベスト〉



オーバーサイズ



ツイード風



花柄

〈カーディガン〉



クロップト丈



配色ライン



ルーズカーディガン



パール縁取り

〈シャーリング〉



シャーリング
ボリューム
スリーブ



2段シャーリング

〈その他〉



ボリューム
スリーブ



ショルダースリット



ビッグカラー
ストライプ



刺繍&パールボタン

〈その他〉



ノースリーブ



ロゴスウェット



パフスリーブニット



ショート丈
スキッパーニット



キルトジャカード
スウェット



モヘヤニット



アームカバー
付きニット

リサーチ場所:新宿(ルミネ、ミロード)、池袋(ルミネ、パルコ)、渋谷ヒカリエ、武蔵小杉(グランツリー、ららテラス)

【パンツ】

- パンツではデニムパンツが多く見られた。ヤングで増加していたローライズは見られず、ハイウエストやジャストウエストが主流だった。デザインでは、フロントポケット付きやグラデーションが見られた。
- ビビッドカラーのスラックスの提案が増し、特にワイドパンツが多く見られた。センタープレスが入ったベルト付きデザインが多い傾向だった。
- フロントVカットやサスペンダー付きのサロペットパンツの提案が増加していた。
- その他、センタープレスのハーフパンツ、チェック素材のテーパードパンツ、ロールアップのワイドチノパンツ、花柄のウエストゴムパンツ、ベロア素材のストレートパンツなどが見られた。

〈デニムパンツ〉



〈カラースラックス〉



〈サロペット〉



〈その他〉



【スカート】

- ロングスカートの提案が増加し、コード刺繍やアート柄プリント、キルティング、ラメジャカードなど意匠性の高い素材のフレアスカートが多く見られた。
- 夏から継続して、タイトスカートも好調。夏に多く見られたスリットスカートはやや減少し、秋らしいフェイクスエードやチェック素材、ニットフリンジなどのスカートが見られた。
- サロペットと同じくジャンパースカートでも、フロントVカットとサスペンダー付きが見られた。
- その他、バックフレアのミニスカート、ティアードのミディ丈スカート、ローピングチェックスカート、カットジャカードのフリルスカート、レオパード柄のフレアスカートなどが見られた。

〈ロングスカート〉



〈タイトスカート〉



〈ジャンパースカート〉



〈その他〉



リサーチ場所: 新宿(ルミネ、ミロード)、池袋(ルミネ、パルコ)、渋谷ヒカリエ、武蔵小杉(グランツリー、ららテラス)

CAREER ショップリサーチまとめ

キャリアの売り場では、トラッドアイテムなどを取り入れたキレイめフェミニンスタイルとオーバーサイズアイテムやルーズシルエットのカジュアルスタイルが多く見られた。キレイめのスタイルは22夏から通勤スタイルで多く見られたが、金ボタンジャケットやツイードジャケット、ボウタイブラウス、チェック柄のニットセットアップなどトラッドテイストのアイテムが増加し、ますます多く見られた。ルーズなカジュアルスタイルでは、オーバーサイズのカーディガンやニットベスト、ボリュームスリーブのアウターやロングファーベストなどゆったりとした秋アイテム増え、温かみのあるカジュアルコーディネートがVPで多く見られた。アイテムでは、ノースリーブアウターが様々な素材、テイストで増加していた。着回しが効くことから、秋シーズンに購入後、冬もベストとしての着用品が予想され、長い人気が見込まれる。また、セットアップの人気はシーズンレスに継続し、アウターセットアップ、トップス&ボトムセットアップ共に提案が活発だった。そして、トラッドテイストのアイテムが増加したことから、柄では小ぶりなグレンチェックから大振りなタータンチェックまで、多彩なチェック柄が見られた。

・キレイめフェミニン



・ルーズカジュアル



・ノースリーブアウター



・セットアップ



・チェック柄



ショッピングシーン

調査場所 : 竹下通り、ラフォーレ原宿、渋谷109前

調査日時 : 2022年10月20日 11:00~14:00

天候 : 快晴

気温 : 最高気温 20.7℃ / 最低気温 9.7℃

平均気温 14.7℃

サンプル数: 311枚

竹下通り



ラフォーレ原宿前



渋谷109前



通勤シーン

調査場所 : 武蔵小杉駅周辺

調査日時 : 2022年10月20日 8:00~10:00

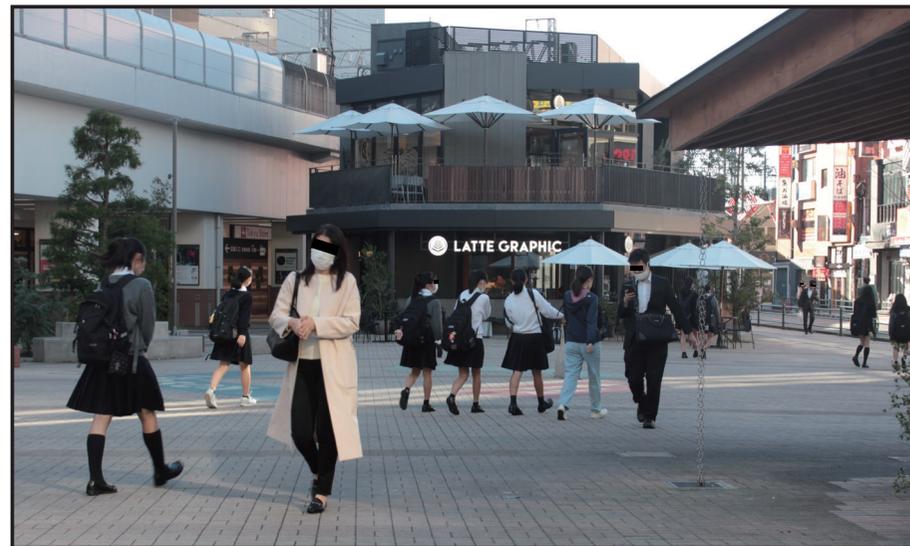
天候 : 晴

気温 : 最高気温 19.9℃ / 最低気温 10.7℃

平均気温 15.4℃

サンプル数: 320枚

武蔵小杉駅前



【ヤング アウター総括】

【2021~22 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
コート	トレンチコート	5.7%	2.6%
	テーラードコート	2.3%	6.1%
	ステンカラーコート	2.3%	0.9%
	フードコート	2.3%	1.7%
	ノーカラーコート	1.1%	7.8%
	合計	13.6%	19.1%
ジャケット	レザージャケット	18.2%	19.1%
	テーラードジャケット	13.6%	15.7%
	スリーブレスジャケット	13.6%	2.6%
	シャツジャケット	8.0%	7.8%
	デニムジャケット	6.8%	7.0%
	ノーカラージャケット	5.7%	4.3%
	カジュアルジャケット	5.7%	6.1%
	キルティングジャケット	3.4%	0.9%
	ワーク・ミリタリージャケット	3.4%	2.6%
	カジュアルブルゾン	3.4%	6.1%
	ポア・ファーブルゾン	4.5%	8.7%
	合計	86.4%	80.9%

前年度と比較して着用率上昇 *1%未満の変化は着色なし
 前年度と比較して着用率減少

・スリーブレスジャケット・



23年春から継続して、スリーブレスジャケットの人気が高かった。夏のフィールドではテーラードカラーやノーカラーが多く見られたが、秋のフィールドではユーティリティデザイン、デニムやエコファーなどデザイン、素材共にバリエーション豊富に見られた。

・レザージャケット・



レザージャケットは昨年と同じく、ジャケットの中では最も多く着用されていた。デザインは黒のライダースジャケットが多く、一部ベージュなども見られた。コレクションでは様々なレザージャケットが見られたが、フィールドではライダースが非常に多く定着していた。

・テーラードジャケット・



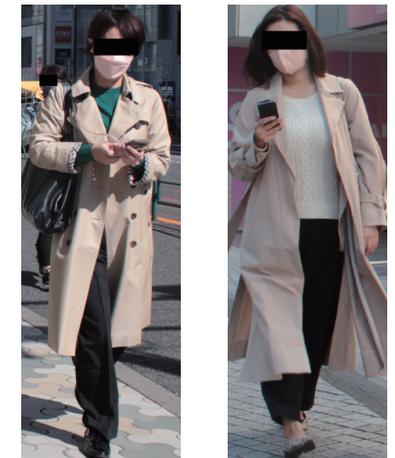
テーラードジャケットはやや着用者が減ったものの、ジャケットでは2番目に多く安定した人気が見られた。店頭で見られたショート丈は少なく、レギュラーレングスが多く着用されていた。

・シャツジャケット・



シャツジャケットの着用率は昨年とほぼ同様の結果となった。デザインの変化もあまりなくベージュのジャケットが多かった。一部、刺繍入りやコーデウロイなども見られた。

・ロングコート・



コートは昨年と比べて5.5%減少し、ジャケットの人気が高まっていた。デザインではコットンのトレンチコートや薄手ウールコートなどがやや多く、カラーはベージュがよく見られた。

【ヤング トップス&ワンピース総括】

【2021~22 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
カットソー	無地カットソー	17.9%	12.5%
	グラフィックカットソー	13.0%	21.8%
	パーカ	9.0%	3.9%
	カットソーカーディガン	3.8%	0.0%
	その他カットソー	0.9%	0.0%
	カットソー合計	44.5%	38.2%
ニット	無地ニット	13.0%	17.9%
	ニットカーディガン	11.0%	12.5%
	柄ニット	3.5%	1.3%
	ニットベスト	3.2%	2.6%
	ニット合計	30.6%	34.3%
シャツ&ブラウス	ブラウス	9.8%	8.8%
	シャツ	4.6%	3.9%
	スリープレストップス	0.6%	0.0%
	シャツ・ブラウス合計	15.0%	12.7%
ワンピース	柄ワンピース	3.2%	3.9%
	その他ワンピース	6.6%	10.9%
	ワンピース合計	9.8%	14.8%

・無地カットソー・



カットソーでは無地の人気が増し、昨年より5.4%増加していた。シンプルなデザインのほか、カットアウトデザインやドロスト付き、チュールミックスなどさりげないデザインの加わったカットソーが見られた。カラーはホワイト、オフホワイトが多く、次いでブラックが多かった。

・パーカ・



フーデッドパーカの着用率が増加し、特に無地パーカは着用者が倍増していた。ワンポイントやブランドロゴのグラフィック入りパーカも多く、カジュアルな着こなしが増加していた。カラーはベーシックなホワイトやグレーが多く見られたが、一部ビビッドカラーも見られた。

・カットソーカーディガン・



裏毛素材などを使用したカットソーのカーディガンの着用が増加し、ボレロデザインやUネックのカラーカーディガンなどが見られた。

・無地ニット・



ニットは昨年より3.7%減少し、カットソーの着用が増加していた。ニットの中では無地が最も多く見られ、特にルーズシルエットが多かった。他にはショート丈やボリュームスリーブが見られた。

・無地ブラウス・



シャツ、ブラウスではブラウスの人気が高く、フェミニンなギャザーやフリルを加えたブラウスの他、トレンドの凹凸素材ブラウスも見られた。

■ 前年度と比較して着用率上昇 ※1%未満の変化は着色なし
 ■ 前年度と比較して着用率減少

【ヤング ボトムス総括】

【2021~22 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
パンツ	デニム	13.4%	15.7%
	スキニー	8.3%	7.8%
	ショート	8.0%	2.4%
	ワイド	8.0%	3.1%
	ストレート	7.6%	15.3%
	フレア	5.1%	5.5%
	柄パンツ	4.3%	2.7%
	テーパード	2.2%	3.1%
	その他パンツ	3.3%	2.4%
	パンツ合計	60.1%	58.0%
スカート	ロング丈	17.0%	12.9%
	ミニ丈	10.9%	11.8%
	ミディ丈	8.3%	12.2%
	ジャンパースカート	3.6%	5.1%
	スカート合計	39.9%	42.0%

前年度と比較して着用率上昇 ※1%未満の変化は着色なし
 前年度と比較して着用率減少

・ロングスカート・



スカート全体は着用率が低下したものの、ロングスカートは着用が伸び、ボトムスの中でも最も多く見られた。ミニ丈やミディ丈ではタイトシルエットが増加していたが、ロング丈では少なく、シルエットはフレア、マーメイド、プリーツ、ティアードなどが多く見られた。

・デニムパンツ・



パンツでは昨年人気だったストレートパンツの着用が減少し、デニムでもストレートシルエットが減り、ワイドやスキニーデニムが増加していた。カラーはライトブルーからワンウォッシュが多く、22年夏に見られたダメージ加工やペイントはあまり見られなかった。

・ミニスカート・



ミニスカートは昨年2位だったミディ丈を抜いて、2位上がったものの、着用者数は昨年と同数だった。タイトシルエットのほか、プリーツミニも多く見られた。

・ショートパンツ・



22年夏から増加しているショートパンツは秋フィールドでも人気が続く。コンパクトなシルエットが多く、メリハリのあるコーディネートが見られた。

・ワイドパンツ・



ワイドパンツも着用が大幅に増加し、コットンやドレープ性のある素材のパンツが見られた。カラーはブラックのほか、ベージュ、プライトカラーなど様々なカラーが見られた。

【キャリア アウター総括】

【2021～22 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
コート	トレンチコート	7.6%	6.0%
	ノーカラーコート	7.6%	5.5%
	テーラードコート	7.1%	7.0%
	フードコート	6.0%	5.0%
	ステンカラーコート	4.9%	7.0%
	その他コート	0.5%	1.0%
	合計	33.7%	31.5%
ジャケット	フーディジャケット	13.0%	12.5%
	ワーク・ミリタリージャケット	7.6%	8.0%
	シャツジャケット	7.6%	9.0%
	テーラードジャケット	6.0%	6.5%
	スリーブレスジャケット	4.9%	1.5%
	ノーカラージャケット	4.9%	4.0%
	カジュアルブルゾン	4.3%	4.5%
	デニムジャケット	4.3%	5.5%
	ライダーズ・レザージャケット	4.3%	8.0%
	キルティングジャケット	3.8%	0.5%
	スーツ・セットアップ	3.8%	3.5%
	ポアブルゾン	1.6%	5.0%
	合計	66.3%	68.5%

前年度と比較して着用率上昇 *1%未満の変化は着色なし
 前年度と比較して着用率減少

・フーディジャケット・



アウターではコットンやポリエステルなどのフーディジャケットの人气が最も高く見られた。スピンドルやフラップポケットを加えたマウンテンパーカが多く、カラーはベージュやブラウンが人気だった。わずかだが、スポンジ素材のフーデッドパーカも見られた。

・トレンチコート・



トレンチコートは昨年より着用が少し増加していた。ヤングに人気のルーズシルエットやロング丈だけではなく、ショート丈やひざ丈など丈のバリエーションが広がっていた。カラーはベージュのほか、オフホワイトなどのベーシックカラーが見られた。

・ノーカラーコート・



トレンチコートと並んでノーカラーコートの人気も高かった。デザインは羊毛のキレイめウールコートが多かったが、キルティングや綿素材のカジュアルコートも見られた。

・テーラードコート・



テーラードコートは安定した人気が見られ、今期も多く見られた。コットンや薄手ウールなどの軽量ロングコートが多く、オーバーサイズやロング丈がほとんどだった。

・スリーブレスジャケット・



ヤングと同じくスリーブレスジャケットが増加していた。昨年はダウンベストが数人見られるのみだったが、今期はファーやキルティング、ロング丈など様々なデザインが見られた。

【キャリア トップス&ワンピース総括】

【2021~22 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
カットソー	無地カットソー	25.2%	14.7%
	柄カットソー	11.3%	10.5%
	パーカ	11.3%	11.9%
	カットソーカーディガン	5.0%	0.0%
	その他カットソー	2.8%	0.0%
	合計	55.7%	37.2%
ニット	ニットカーディガン	8.5%	11.9%
	無地ニット	7.4%	21.1%
	柄ニット	1.8%	1.4%
	ニットベスト	1.1%	1.8%
	合計	18.8%	36.1%
シャツ&ブラウス	シャツ	8.1%	6.0%
	ブラウス	6.4%	9.8%
	合計	14.5%	15.8%
ワンピース	カットソーワンピース	3.9%	4.2%
	柄ワンピース	3.5%	1.8%
	その他ワンピース	3.6%	4.9%
	合計	11.0%	10.9%

前年度と比較して着用率上昇 ※1%未満の変化は着色なし
 前年度と比較して着用率減少

・無地カットソー・



キャリアでも、ニットの着用が減少しカットソーの着用が増加する結果となっていた。アウターにインするシンプルな薄手のタイプのほか、ルーズシルエットのスウェットやロングカットソーなどが見られた。カラーはベーシックカラーが多く、ビビッドやブライカラーはあまり見られなかった。

・柄カットソー・



柄カットソーも着用がシャツ、ブラウス以上に多く、通勤のカジュアル化が継続していた。カレッジロゴなどのタイポグラフィプリントスウェット、グラフィックプリントのほか、ヤングではあまり着用されていなかったボーダーカットソーなどが見られた。

・カットソーカーディガン・



昨年と比べて、ニットカーディガンが減少し、カットソーカーディガンが増加していた。裏毛などの中肉素材を使用したショートカーディガンが多く、カラーカーディガンも見られた。

・ニットカーディガン・



ニットは全体的に着用が減少していたが、中ではニットカーディガンが多く見られた。ケーブルやリブのミドルレンジカーディガンが多く着用されていた。

・無地シャツ・



トップスでは全体的にエレガンス系のアイテムが減少し、カジュアルなアイテムが増加していた。布帛でもブラウスが減少し、無地のシャツが増加していた。

【キャリア ボトムス総括】

【2021～2022 年着用率変化】

アイテム		2022年着用率	2021年着用率
パンツ	スキニー	23.6%	23.6%
	デニム	18.4%	17.3%
	ストレート	14.2%	13.7%
	ワイド	11.5%	12.5%
	テーパード	7.3%	6.3%
	カーゴ	0.7%	0.0%
	ショート	0.3%	0.4%
	フレア	0.0%	1.5%
	サロペット	0.0%	0.4%
	パンツ合計	76.0%	75.6%
スカート	ロング丈	13.2%	11.1%
	ミディ丈	9.4%	10.0%
	ニーレングス	1.0%	2.2%
	ミニ丈	0.3%	1.1%
	スカート合計	24.0%	24.4%

前年度と比較して着用率上昇
 前年度と比較して着用率減少
 *1% 未満の変化は着色なし

・スキニーパンツ・



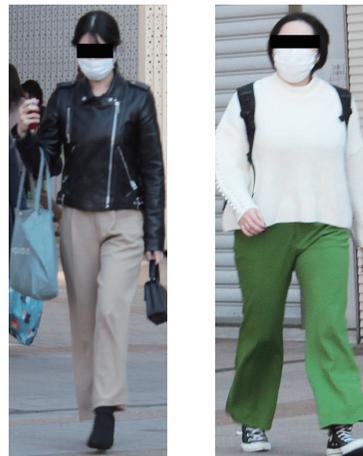
昨年と同じくパンツの着用者が3/4を超え、通勤スタイルはパンツがメインだった。ストレッチ性のあるレギパンやコットンパンツなどカジュアルな素材が多かった。カラーはブラックが多く、次いでホワイト、グリーンやブルーなどが見られた。

・デニム・



デニムの人気も高く、今期は特にスリムシルエットが多く、次いでストレートやワイドデニムが見られた。カラーはライトインディゴから、インディゴ、ブラックまで幅広く着用されていた。また、デニムの着用者はスニーカーの着用が非常に多かった。

・ストレートパンツ・



ヤングでストレートパンツが減少したのに対して、キャリアでは安定した人気が続いた。カジュアルなコットンのほか、ドレープ性のある合繊素材のパンツも見られた。

・ロングスカート・



スカートではロングスカートの人気が増していた。フレアスカートが特に多く見られたが、昨年と比較するとタイトシルエットやマーメイドの比率も上がっていた。

・ミディスカート・



ミディスカートの着用は昨年とほぼ同等の結果だった。シルエットはロングと同じくフレアが多いものの、ミディ丈でもタイトやマーメイドが増加していた。

【アウター】

・ 2way, 3wayコート ・



1着で様々なデザインを楽しめるマルチコート

・ トレンチコート ・



ショート丈やオーバーサイズ

・ テーラードジャケット ・



ダブルブレストやショート丈

・ スリーブレスアウター ・



スリーブレスジャケットからカジュアルアウターのスリーブレスデザインまで

・ デニムジャケット ・



コンパクトサイズやオーバーサイズ

for

Young & Career

・ 軽量ウールコート ・



フラットウールのステンカラーやノーカラー

for

Young & Career

・ ユーティリティコート ・



ユーティリティデザインのナイロンコート

for

Young & Career

・ ノーカラージャケット ・



通勤ジャケットからカジュアルまで

for

Young & Career

・ レザージャケット ・



ベーシックライダースや2wayデザイン

for

Young & Career

・ スタジャン ・



定番のコンパクトジャケットやロゴ入り

for

Young

・ シャツジャケット ・



クリスプコットンやウールジャケット

for

Young & Career

【セットアップ・ワンピース】

・ジャケットセットアップ・



メリハリの効いたサイズ感のセットアップ

for

Young & Career

・ニットセットアップ・



肌見せデザインやトラッドな定番柄など

for

Young & Career

・マキシワンピース・



カジュアルなシャツOPやカットソーOP

for

Young & Career

・キャミワンピース・



コンパクトなミニからフレアなロング丈まで

for

Young & Career

・スリムワンピース・



タイトからリーン&ナローシルエットまで

for

Young & Career

・ドッキングワンピース・



異素材ミックスワンピース

for

Young & Career

・スカートセットアップ・



ブラウスやニットの軽単品セットアップ

for

Young & Career

・デニムセットアップ・



ミニボトムやショートジャケットセット

for

Young

・ミニワンピース・



タイトニットやフレアなブラウスドレス

for

Young & Career

・プリントワンピース・



ボタニカル柄のウエストマークOP

for

Young & Career

・ニットワンピース・



ハーフジップや肌見せデザイン

for

Young & Career

・スウェットワンピース・



ルーズシルエットやロゴプリント

for

Young & Career

【トップス】

・スリーブレスニット・



ベーシックやアームカバーセット

for

Young & Career

・ハーフジップニット・



畦編みやスポーティなラインアクセント

for

Young & Career

・ショート丈カットソー・



ハイネックやラインストーンロゴ

for

Young & Career

・二の腕見せトップス・



カットアウトや2wayデザイン

for

Young & Career

・カットソーカーディガン・



裏毛やスポンジカーディガン

for

Young & Career

・レースブラウス・



チュールレースやストレッチレース

for

Young & Career

・ルーズニット・



カラーニットやルーズカーディガン

for

Young & Career

・グラデーションニット・



ソフトカラーのルーミーニット

for

Young & Career

・グラフィックカットソー・



ワンポイントやレターロゴ柄

for

Young & Career

・スウェット・



ワンポイントやカレッジロゴスウェット

for

Young & Career

・アシンメトリートップス・



アシンメトリートップス

for

Young

・ボウタイブラウス・



サテンやギャザーデザインブラウス

for

Young & Career

【トップス】

【ボトムス】

・シャーリングトップス・



シアーブラウスやショート丈

・ビスチェ・



フリルデザインやドッキングアイテムなど

・カーゴパンツ・



ハードなコットンからナイロンパンツまで

・ショートパンツ・



スラックス風からイージーパンツまで

・ワイドパンツ・



スラックス風やカラーワイドパンツ

・ミニスカート・



タイトミニやプリーツミニスカート

for

Young & Career

・レース付きカットソー・



裾レースやレーストリムカットソー

・デニム・



定番のストレートからアレンジデニムまで

・スラックス・



カラースラックスやチェック柄パンツ

・スキニーパンツ・



ストレッチパンツやカラーパンツ

・マキシスカート・



フレアシルエットのマキシスカート

・マーメイドスカート・



アシンメトリーやプリントスカート

for

Young & Career

【 ボトムス 】

・ スリットスカート ・



深いスリットやレースとの組み合わせ

for

Young & Career

・ ティアードスカート ・



フレアシルエットやアシンメトリーデザイン

for

Young & Career

・ タイトスカート ・



チェック柄やニットタイトスカート

for

Young & Career